

6 その他(感想などご自由にお願ひします)

- ・今日のセミナーでひとつ気になっているのは、参加した保護者は、「もっと英語を使った授業をしてくれる！ウチの子は英会話教室に通っていて他の子よりレベルが高いんだ！また、それをこの場で確信することができる！」のような気持ちで参加されていることをすごく感じた。このギャップをどう埋めるか。期待した割に、たいしたことがなかったように思う。
- ・従来の行政システムにとらわれては、形ができて中身の無いものになると思うので、全てのこと(人事、入試 etc)を特例として進めるべきです。IB自体が既存の教育システムの外にあるものだから(日本では)
- ・なぜ高知でIB? 何のニーズで? DPでは、最低2科目は英語で行うことになるが、その程度で都市部や西欧圏のIBと同等の力が身に付くのか。IBに参加しなくてもハークネスメソッド等、その他にも教育方法があるように思う。
- ・セッション①は、小学生には少し難しすぎたように思える。時間的に少し長い。(小学生の集中力がなくなっていた)
- ・高知の地方で、どのように活用できるのか? 学校がどのくらいのレベルになるのか?
- ・このセミナーを一日でやろうとしたことに少し無理があったのではないのでしょうか? せっかくの夏休み、子供たちは午前中、理解できない説明を聞かなければならなかったし、見学者は一体何が起きているのか(席を立てても良いとは言われたけれど)余り理解できなかったのでは? 英語教育との関連も(南中を西へ???)高知県の公立中・高でバカロレアを採用するに当たり、十分な準備ができていますか?
- ・中学、高校での学習内容は、ほぼ決まっていると思うのですが、自由度の高いIB教育と相入れるものなのでしょうか? 必須の知識(他校等)に差は生まれないのでしょうか?
- ・今後もこういった体験セミナーがあるようでしたら、ぜひ受講したいです。娘も、次は同じテーブルで参加したいと言っています。
- ・バカロレアを導入することによって何がかわるのか、その先にあるものが、もう少しはっきりとわからなければいけないと思う。公立で導入するということは、広く県民にも理解されるべきだと思う。どこまで、見据えた上でのことなのか、よくわからない。正直なところ、すぐに終わるのでは? と思ってしまう。個人的に調べた範囲では、教授するには、かなりの知識・技術が必要だと思うが、そこをどのように解説していくのかを知りたい。現行の公立高校の先生が教えるのか、どこかの外部から呼び入れるのか、IBを取ることで学習指導要領に示されていることが、おろそかにならないのかも知りたいです。後ろからは、パワーポイントが全く見えませんでした。資料があればよかったと思いました。
- ・バカロレアの教育理念、例えば自分と違う価値観も認めて共存していこうという理念は、今の混沌とした時代になくしてはならないものである。自己のアイデンティティを持ちつつ、他者も認めるということができれば、偏狭な考えやテロリズムなども、なくすことができると思う。しかし、これは簡単なことではないことを痛感している。バカロレアで学んだ学生が増えてくれれば、世界は変わるかもしれない。
- ・2回目のセミナーに申込みます。
- ・高知で初めてなので、まだまだ知りたいことがあります、これだけ多くの方が関心を持っていることに驚きました。
- ・セッション①を見て、「答えを出そう」とする姿勢がしみついてるのを感じた。自分の意見を自由に出すということ自体が難しい様子。親子共に。セッション②は、ペンサムのコマを教材にするところが、子供(大人も)の興味を上手く引き出している。素晴らしい。セッション③、④も具体的事物を使っているところが、楽しく学べるポイントのように思う。④の“協働的”であることは、社会的に大事なことであると思う。
- ・模擬授業のみ参加しました。子供にやらせて、考えさせる方法は、答えを教えるのと違い探究心を養うと思う。しかし、決められた範囲をこのスピードで網羅できるのかが疑問。世界の中の日本人として、これからの国際社会を生きていく人を育てるプログラムは、とてもよいと思う。
- ・中学校の通学区域について、早く知りたいです。
- ・セッション②からの参加でしたが、すごく頭を使う授業でした。けれど、探究→行動→振り返りのプロセスは勉強だけでなく、人生においても、とても必要なことだと思いました。これからもっと進む国際化の中で、様々な問題が出てくると思いますが、その中で自分で考え抜いて生きている子にしたいと思う中で国際バカロレア校は、とても魅力的だと思えます。
- ・高校等の体験入学のように、高知市内とその他の地域等に分けて説明会を開いてはどうでしょうか?
- ・校区の制限を設ける場合、早くに情報が欲しいです。
- ・セッションの質問の意味を理解するまでに時間がかかる。国際、グローバル、海外、地域、4つの意味を(日本語的に)理解するのに、ネットを使わないといけなかったです。(お恥ずかしい)我が子は4年生だが、セミナーに参加させたかった。(この経験をさせたい。5年生にこだわるのは残念。次回は4年生も参加させてほしい)今、通っている小学校の教育だけでは、IBについていくのは、難しいと痛感した。
- ・小学5年生への授業の説明にしては、言葉が固く難しそうである。例を上げて、簡単にやって見せたら良かったかもしれない。

6 その他(感想などご自由にお願いします)

- ・最初の先生の説明ではピンときていなかった子供たちがやっていくうちに、アシスタントの方のフォローもあり、シャイな日本人の子供でもWhat to do, How to do をやり始めていて、子供たちもいつもと違い、楽しくおもしろく感じたことであろう。
- ・私(親)でも、会社の研修のようで難しく思った。子供がIB教育をした後、どうなるのか、どのような職業につくのか、よくわからなかった。自分の考え、他人の考えを、理解し、行動していくようになればいいと思った。
- ・午後だけの参加で、全体がわからないので、判断はできませんが、大変興味がわきました。今後も機会があれば、学びたいと思います。
- ・高知県の中高教育一貫校は、失敗だったのではないかとの声が高いにも関わらず、バカロレアを導入しようとする意図がわかりません。
- ・説明が少しわかりにくい。司会の方と、このプログラムの重要性を説明する方(クインシー先生)を別にしたほうがいいのでは？